

シニアライフ・コンシェルジュ  
おすすめスポット



創建当時から残る円月橋

水に映った姿と石橋を合わせると丸い月のように見えることから、円月橋と名付けられた。正面に置かれた平らな石に立って橋を見るのがポイント。



田園風景を彩る藤棚

一般的な藤棚に比べて高さを低く仕立てることで、遠くから見たときに遠近感を感じさせるつくりになっている。



四季折々の花々

屋敷内の客間の庭としてつくられた内庭の池には、夏になると睡蓮が咲き乱れる。ほかにも春には梅や桜、藤が終わると5月～6月は花菖蒲を楽しむことができる。

小石川後楽園

■所在地/東京都文京区後楽1丁目6-6  
■最寄駅/都営地下鉄大江戸線「飯田橋」C3出口より徒歩3分、JR総武線「飯田橋」東口より徒歩8分、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」A1出口より徒歩8分、東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」1番出口より徒歩8分  
■開園時間/午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)  
■休園日/年末・年始(12月29日～翌年1月1日まで)  
■拝観料/一般 300円/65歳以上 150円(小学生以下および都内在住・在学の中学生は無料)/20名以上の団体一般 240円/20名以上の団体 65歳以上 120円  
※無料公開日:みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



庭園内には、江戸時代最初の上水道である神田上水が流れていた。小石川後楽園の神田上水跡は、現存する唯一の水路跡。

黄門様では世直しをしながら日本全国を旅する姿が印象にあります。が、実際はほとんど遠くへ行ったことがなかったそう。水戸藩の間は参勤交代が免除されていた関係で江戸から出られず、琵琶湖や京都といった名所に憧れを抱いていたことを西山さんが教えてくださいました。

**あらゆる景観が堪能できる庭**

小石川後楽園のもう一つの魅力は、小石川台地の地形を利用してさまざまな景色を楽しめるところにあります。「園内は、海、川、山、

田園、中庭の5つのゾーンに分かれており、池の周りを廻りながら景色の変化を楽しむ回遊式築山泉水庭園としてつくられました。それぞれのゾーンは独立することなく、自然と次の景色に移り変わるようにつくられており、情緒を感じさせてくれます」と西山さん。園内は高低差があるため、さまざまな角度から景観を楽しむことができます。

「梅や枝垂桜、花菖蒲といった季節の花だけでなく、敷地内に稲田があるというのも小石川後楽園の特徴の一つではないでしょうか。

庭園の中に稲田があるのは都立庭園では、ここ小石川後楽園だけです。これはもともと水戸光圀が跡継ぎ・綱条の公家出身の夫人に農民の苦勞を教えるために作った田んぼで、現在は毎年文京区内の小学生在が田植えと稲刈りを行っています」とのこと。ほかにも、中国の風物を取り入れた円月橋や西湖堤など、見どころは尽きません。土・日・月と祝日は無料の庭園ガイドも行っているそうなので、興味深いエピソードを聞きながら、江戸の時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



京都の東福寺の通天橋を模した橋。京都嵐山の下を流れる大堰川(おおいがわ)も再現されている。夏の青々とした青紅葉も人気だそう。

**大都会の穴場的な文化遺産**

現在東京ドームがある地には、徳川御三家のひとつである水戸徳川家の藩主が暮らす上屋敷がありました。屋敷は水戸徳川家所有から明治政府所有へ変わるときに取り壊されてしまいましたが、名園として名を馳せた小石川後楽園は度重なる災害や戦火も乗り越え、その姿を今に伝えていきます。今回

は、小石川後楽園サービスセンタール長の西山さんと共に、国の特別史跡・特別名勝にも指定されている庭園内をご案内しましょう。



「小石川後楽園は、徳川家康の11男で水戸徳川家の藩祖、徳川頼房によってつくられました。当時は隠退した藩主や跡取りが住む屋敷でしたが、のちに上屋敷となりま

す。庭園は、黄門様のモデルとして知られる徳川光圀公が完成させました。興味深いのは、この庭園が江戸から京都を旅するというコンセプトで作られた点です。現在閉鎖されている東門が当時の正門で、江戸を出て木曾路を通り、琵琶湖を経て京都へ辿り着くというイメージでつくられています」と西山さん。その案内通りに歩いてみると、確かに京へ向かう道中のように思えます。木々がうっそうと茂る細く暗い木曾路を進むと、視界が開けた途端に琵琶湖に見立てた大泉水(池)が広がります。そして京都へ着くと、紅葉の名所として知られる渡月橋や東福寺の通天橋、清水寺が現れるのです。庭園を巡るだけで、まるで京都までの諸国漫遊をしているような感覚に陥り、自然と気持ちが高ぶります。水戸光圀公といえは、

シニアライフ・コンシェルジュが案内する

都内の名処



江戸の時代に思いを馳せて

CHAPTER 4

小石川後楽園

東京に観光名所は数あれど、あまり知られていない穴場スポットは数多く存在します。そんな「都内の名処」を、シニアライフ・コンシェルジュ藤野政史がご案内します。今月は、東京ドームの隣に広がる水戸黄門ゆかりの名園「小石川後楽園」に出掛けてみましょう。



藤野政史  
グローバルライフ株式会社 代表取締役  
シニアライフ・コンシェルジュ  
シニア世代の皆さまが楽しく、笑顔で、遊び、学ぶ、集う会「グローバルライフクラブ」を運営。  
「都内の名処」を募集中!  
グローバルライフクラブ 検索  
0120-70-0202